

Parallels Desktop 15 for Mac について

Parallels Desktop® 15 for Mac は、Mac® で Windows と Windows アプリケーションが使用できるシンプルかつパワフルなソリューションです。再起動する必要はありません。詳しくは、**Parallels Desktop 15 for Mac** に関するドキュメントをご覧ください。

Parallels Desktop 15 の新機能

グラフィック

Parallels Desktop 15 のグラフィックは、同じ製品の以前のバージョンと比較して大きく向上しています。次に挙げるような特徴があります。

- **Parallels** は **Apple Metal** を利用することで、**DirectX 11** のサポートを開始しました。これにより **Autodesk 3ds Max 2020**、**Lumion**、**ArcGIS Pro 2.3**、**MasterSeries** 製品などを実行できるようになりました。さらに **Madden NFL 19**、**Age of Empires: Definitive Edition**、**Anno 2205**、**Railway Empire**、**Space Engineers**、**Frostpunk**、**Risk of Rain 2** など、たくさんのお気に入りのゲームのプレイが可能です。
- **DirectX 3D** グラフィックは **Apple Metal** エンジンにより強化されました。
- マウスのスライドをサポートする **VirtIO GPU** (**Parallels Desktop** がゲスト OS のマウスカーソルをキャプチャする場合)、動的解像度 (ユーザーが仮想マシンのウィンドウのサイズを変更して、画面解像度が動的に変更される場合)、マルチモニターのサポートにより新しい **Linux** ディストリビューションとの互換性が強化されました。これらの機能は **Parallels Tools** に依存しません。
- 広く普及している **Linux** ディストリビューションの最新バージョンで必須となる **DRM** ベースのグラフィックをサポートします。

パフォーマンス

毎年の継続的なパフォーマンスの向上と、多くの使用環境におけるパフォーマンスの問題の大幅な改善にもかかわらず、当社は製品のさらなる高速化と効率化に取り組んできました。

- 以前のバージョンでは使用に耐えないほど動作が遅かった一部のアプリケーションは、**DirectX 11** を使用することで動作速度が大きく向上しました。
- **3D** グラフィックが最大 **15%** 高速化。
- **Microsoft Office** アプリケーションの起動が最大 **80%** 高速化。
- ユーザーインターフェイスの応答速度がさらに向上。

macOS 10.15 Catalina に対応

- macOS 10.15 Catalina のリリースにともない、グラフィック処理能力の向上が実現しました。FIFA 19、Fallout 4、Elite Dangerous、Prey (2017)、Crysis 3、Anno 1800 などの DirectX 11 ゲームをプレイできるようになりました。
- Sidecar により iPad で Windows アプリを使用する場合の、Apple Pencil による描画機能のサポートが向上しました。

Apple Pencil チルトのサポート。

Apple Pencil のダブルタップで次のような新しい Touch Bar オプションを活用できます。

- ペン、消しゴム、マウスモード間の切り替え。
- 簡単なスニップの取得、Touch Bar からの Windows タブレットモードの有効化または Windows スクリーンキーボードの開始。

ハードウェア

- NVMe ディスクコントローラーをサポートします。これは次世代のストレージコントローラーです。NVMe は、AHCI と比べて仮想化環境との親和性が高く、効率的です。NVMe は、ソリッドステートストレージだけでなく、最新型のマルチコア CPU も活用します。
- Intel HDA サウンドカードのサポート:
 - - 最大 8/2 チャンネル (出力/入力)、192kHz サンプリングレート、32-bit サンプリングをサポートしました。
 - - VoIP 電話の音質が向上しました。
 - - “jack sense” をサポートしました。
 - - マイクのミュート状態を自動検出します。ユーザーまたは macOS の環境設定で Mac のマイクへのアクセスが許可されていない場合は、Windows にマイクのミュート状態が表示されます。
 - - サウンド出力の無効状態の自動検出します。サウンド出力が仮想マシンの設定で無効にされている場合、Windows でも出力の無効状態が表示されます。
- BLE (Bluetooth Low Energy) のサポート。これにより、IoT デバイス (スマート家電、スマートバンド) を含むより多くのデバイス (Logitech Craft、IrisPen など) が利用できるようになります。
- Bluetooth のドライバーはバージョン 4.0 です。

より便利に

- **Boot Camp** ベースの仮想マシンは次の点で向上しています。
 - - **Windows** の起動がより堅牢になりました。
 - - ハードディスクの再構成が原因で **Boot Camp** ベースの仮想マシンが破損してしまう問題を解決しました。
 - - **Windows** のメジャーアップデートのサポートが向上しました。仮想マシンの **Windows** でメジャーアップデートをインストールする場合に、**Parallels Desktop** は **Boot Camp** ネイティブでアップデートの完全なインストールを提供します。
 - - **Boot Camp** ベースの仮想マシンで **Windows 10** のアイコンに代わり新しい **Boot Camp** のアイコンが使用されます。
- スナップショットへロールバックする場合、**Parallels Desktop** では現在の仮想マシンの状態を新しいスナップショットとして保存できます。
- 非常に早い段階から画像のドラッグ & ドロップはサポートされていましたが、最新版の **macOS** の一部のスクリーンショットは、形式が新しいため、**Windows** にそのままドラッグすることができません。今回 **Parallels** はドラッグ & ドロップを強化しました。スクリーンショットプレビューや **Safari**、[写真] アプリまた他の **macOS** アプリケーションの画像をドラッグして、**Windows** アプリにドロップできるようになりました。
- キーボードレイアウトが完全に再設計されたことで、次のような複数の改善点が導入されました。
 - - **Excel** のショートカット “**Ctrl**” + “+” および “**Ctrl**” + “-” がサポートされました。
 - - **JIS** キーボードのサポートが向上しました。
 - - 大部分の非英語キーボードのレイアウトでの **CAPS LOCK** の入力が修正されました。
- **Windows** のデフォルトとして設定されているメールアプリケーションから **macOS** のファイルを添付ファイルとして送信できるようになりました。**macOS** のファイルを右クリックして、[共有] > [その他] > [Windows のメールアプリで送信] をポイントします。
デフォルトのメールアプリケーションは、**Windows** の設定から変更できます。
- **USB** の自動接続が向上しました。**Parallels Desktop 15** より前のバージョンでは、**USB** デバイスを仮想マシンに繰り返し接続して使用するとき、**Windows** がこのデバイスを新規のものと誤認識してしまい、ドライバーを最初からインストールしなければならない場合があります。新しい **Parallels Desktop** では、**USB** デバイスの使用履歴を保存できるようになりました。毎回同じ **USB** ポートにデバイスを接続することで、デバイスを繰り返し接続しても毎回ドライバーのインストールを促されるような煩わしさが解消されました。
- **Parallels Desktop** は、**Parallels** アカウントの認証情報を **Mac** のキーチェーンに保存します。次のサインインの際に、アカウントの認証情報はキーチェーンから自動入力されます。
- 仮想マシンタイトルバーに表示される **CD/DVD** のアイコンと同様に、カメラ、マイク、スピーカーなどの他のデバイスについても、無効の状態になっている場合に、その情報が表示されるようになりました。

- **Windows 10** へのアップグレードアドバイザー。2020 年 1 月に **Windows 7** の延長サポートは終了期限を迎えます（セキュリティパッチの提供終了）。**Windows 7** ユーザー向けの新しいメニュー項目から、**Windows 10** へのアップグレード方法の詳細に関するアシスタントを開くことができます。
- もしかすると **Parallels Desktop** の新しいユーザーは、**Coherence** がどのような機能かよく分からないかもしれません。今回、このビューモードで仮想マシンがどのように動作するかについて説明するアニメーションを鑑賞するためのダイアログが作成されました。
- **Windows Update** のインストールは、リソースに負担をかける操作です。製品のユーザーエクスペリエンスを向上するため、新しい **Windows 10** 仮想マシンでは、**Windows Update** を 7 日間保留できるようになりました。
 - **Windows** の設定から必要に応じてアップデートをレジュームできます。
- **Parallels Desktop** の以前のバージョンの実行中に、ユーザーが手動で **Parallels Desktop** を更新またはアップグレードする場合、インストーラーにより **Parallels Desktop** をワンクリックで終了するボタンが表示されます。ユーザーが手動でアプリケーションを終了させる必要はなくなりました。
- **Windows 10** ダウンロードダイアログが改善されました。以前は、ダウンロードをキャンセルするのにどのように操作したら良いかが不明瞭でした。本バージョンでは、[キャンセル] ボタンが追加されました。

外観および使用感

- **Boot Camp** のインポート処理が改善されました。
 - - 1 か月間ネイティブで **Boot Camp** を起動していない場合、**Parallels Desktop** から **Boot Camp** をスタンドアロンの仮想マシンにインポートするよう促されます。この仮想マシンで、必要なすべての **Windows** アプリが正常に稼働するのであれば、**Boot Camp** のパーティションを削除して、**Mac** のハードディスクの領域を節約することができます。
 - - 新しいダイアログが作成されました。
 - - [ディスク領域を解放] ダイアログが開く [インポート] ボタンが追加されました。
- **Windows** の **Coherence** への切り替えがよりシームレスになりました。ログイン、シャットダウン、画面の暗転（仮想マシンの速度低下による）または他の **Windows** 画面で、**Parallels Desktop** のダイアログが非表示になりました。
- **Parallels** 共有アプリケーションによって使用される **Windows 10** モダンアプリケーションのアイコンが改善され、より容易に識別できるようになりました。

Parallels Desktop 15 Pro および Business Edition のみ

- 外部の物理ディスクを仮想マシンに内部ディスクとして接続します。この機能により次の点が可能となります。
 - - Windows や他の OS をこのディスクにインストールできます。
 - - このディスクにインストールされた OS を起動できます。
 - - 非ネイティブの Boot Camp インストールを使用できます (WinClone による復元など)。
 - **制限:** Apple パーティションスキームまたは Apple ファイルシステム (HFS+ または APFS) を使用するディスクについては、データの損傷を防ぐため Windows 仮想マシンに接続することはできません。
- 仮想 TPM のサポート - 仮想マシンの構成に TPM (Trusted Platform Module) を追加できるようになりました。これは、BitLocker や Windows Hello など、Windows の一部のセキュリティ機能で利用されます。
- Parallels 仮想化 SDK で Python 3.0 がサポートされました。

Parallels Desktop 15 Business Edition のみ

- macOS の管理者 (またはカスタム) パスワードを使用した、ユーザーによる仮想マシンの表示モードの変更を制限する機能が追加されました。
- 管理者またはカスタムパスワードにより、仮想マシンの構成 (*config.pvs* ファイル) を変更できないように設定することが可能になりました。
- 共有ネットワークモードでの TCP 経由の DNS リクエストをサポートします。
- アーカイブ (.pvmz) 形式で仮想マシンを展開することで、時間を節約しネットワーク負荷を軽減することが可能になりました。
- シングルアプリケーションモードで作業するユーザーに対して、Parallels Desktop から通知が表示されることがなくなりました。
- ビジネスアカウントの管理者向けサポートチケットの管理がさらに容易になりました。
 - - デフォルトで、すべてのアカウント管理者がすべてのサポートチケットを確認できます。
 - - ライセンス管理者はサポートチケットを作成できます。
 - - アカウント管理者またはチケット作成者は、特定のチケットに対する閲覧者を追加できます。
 - - チケットが更新されると、閲覧者はメールによる通知を受け取ります。
 - 詳細については、<https://kb.parallels.com/124709> を参照してください

Parallels Desktop 15 で廃止または削除された機能

500 万を超えるユーザーが **Parallels Desktop** を活用しています。これは、技術者チームが最大数のユーザーに最大のメリットを提供できるように注力するという、当社の目標と深い関係があります。当社は **Parallels Desktop** の機能を拡張することに加え、既存の機能のすべてが、常に変化する **Mac** および **Windows** の環境に完璧に対応し続けるようにする義務があります。この理由により、技術的な取り組みの優先順位を明確にする必要が生じます。

それで当社は今年度、**Parallels Desktop for Mac** から、使用頻度の少ない、またはまったく使用されることのない機能を廃止または削除することにいたしました。**Parallels** のチームは、カスタマーエクスペリエンスプログラムへの参加に同意のあったユーザーから収集した統計情報を使用しています。カウント対象となる使用ケースについて不明な点がある場合は、**Parallels Desktop** 環境設定でこの機能が有効化されていることをご確認ください。

以下に、廃止された機能ならびに削除された機能の 2 種類のリストを示します。

廃止された機能は **Parallels Desktop 15** で引き続き動作しますが、今後サポート対象から除外されます。またこれらの機能は **Parallels Desktop** の次のバージョンで削除される予定となります。

削除された機能は、**Parallels Desktop 15** で利用できなくなりました。これらの機能は、最新のオペレーティングシステムでサポート対象から除外されたか、またはまったく使用されることがないため（500 万の全ユーザー中、使用ユーザー数が 50 未満）、削除されました。

これらの機能のほとんどは、業務に必須なものではありません。一方で、同等の結果を得るための代替手段が存在しています。

廃止された機能:

- **Windows アプリケーションを Launchpad に追加する**
- API が **macOS 10.15 Catalina** で利用不可となったため、この機能はサポート対象から除外されました。また、**AppStore** を経由しないアプリケーションを **LaunchPad** から簡単に削除する方法が存在しません。
- **Coherence for Linux**
- お使いの **Linux** 仮想マシンは **Coherence** モードで動作する可能性がありますが、この表示モードはサポート対象から除外されました。統計によれば、この機能の使用頻度は非常に低く、一方でサポートには煩雑さがともないます。これに代わり、**Window** モードの **Linux** や **Linux 3D アクセラレーション** などにより多くのリソースを投入することにいたしました。
- **Internet Explorer** および **Edge** パスワードの **Mac** キーチェーンでの保管
- これにより複数の仮想マシンの間でパスワードの共有が可能となるため、便利な機能とみなされてきました。しかし **Windows** ブラウザーの内部的な変更によりこの機能のサポートが不可能となりました。この機能はすでに **Internet Explorer** で動作せず、また近く **Edge** でも同

様に動作しなくなる予定です。

削除された機能:

- **独自の暗号化プラグインを使用する**
- **Parallels Desktop** により、仮想マシンのデータを暗号化することができます。これはデフォルトでは、**AES** 暗号化アルゴリズムによって実行されます。これまでは独自の暗号化プラグインを使用することができましたが、この機能は削除され使用できなくなりました。
- **現在のロケーションへのアクセスを管理する仮想マシン構成のチェックボックス**
- **macOS** の最新バージョンでは、現在のロケーションへのアクセスはシステムポリシー経由でアプリケーションごとに管理されます。ユーザーが特定の仮想マシンのロケーションへのアクセスを許可して、他のロケーションへのアクセスは禁止したいという場合に限り、仮想マシン構成の追加的なチェックボックスを使用することができました。ただし、このチェックボックスは使用頻度が非常に低かったため削除されました。
- **macOS 通知センターの Windows 8 通知**
- 大部分のユーザーが **Windows 10** に移行して、この機能は使用されなくなったため、コードおよびテストから削除されました。この機能が **Windows 10** で必要な場合は、機能リクエストフォーラムからお知らせください。
- **Coherence** での **Windows 8.1** の電源メニュー
- 大部分のユーザーが **Windows 10** に移行して、この機能は使用されなくなったため、コードおよびテストから削除されました。この機能が **Windows 10** で必要な場合は、機能リクエストフォーラムからお知らせください。
- **Windows** 版 **Office** の [名前を付けて保存] メニューでクラウドストレージのドライブを表示
- この機能は **Office** の最新パッケージでは動作せず、**Office 2013** でのみ利用可能でした。**Microsoft Office 2013** を使用している場合、引き続き、ファイルエクスプローラーに共有フォルダーとして表示される、**Mac** 接続のクラウドフォルダーにファイルを保存することができます。
- **Internet Explorer** で電話番号を右クリックして **iPhone** から通話する
- この機能は使用頻度が非常に低かったため削除されました。
- **Internet Explorer** の共有メニューにおける **macOS** の [共有] メニュー
- この機能は使用頻度が非常に低かったため削除されました。
- **Parallels Desktop** 向けの **Finder** タグ
- この機能は評判が悪く使用頻度が非常に低かったため削除されました。
- **音声認識コマンド**

- Apple が macOS 10.15 Catalina から導入した音声コントロールにより、さらに多くのことが実現可能なため、この機能は削除されました。この機能により多くのリソースを割いて行きます。
- Windows での 3D アクセラレーションレベルの切り替え
- Windows 仮想マシンの構成で特別なチェックボックスを使用して、Windows における 3D アクセラレーションを無効にしたり、レベルを変更したりできました。大部分のユーザーがデフォルトの設定で運用しており、使用頻度が非常に低いことからこのチェックボックスは削除されました。
- Parallels Desktop は、お使いの Mac にインストールされている macOS のバージョンに応じて、Windows で DirectX 10 または DirectX 11.0 をサポートするようになりました。macOS 10.14.4 Mojave をご利用の場合、Parallels Desktop は DirectX 11.0 をサポートします。

既知の問題

- macOS 10.15 Catalina での Parallels Desktop 15 の動作にはいくつかの既知の問題があります。その説明については <https://kb.parallels.com/124705> を参照してください
- macOS 10.15 Catalina で動作する Mac のフレームレートは最大 60 fps です。

システム条件

- Intel Core 2 Duo、Core i3、Core i5、Core i7、Core i9、Intel Core M、または Xeon プロセッサを搭載した Mac コンピューター。
- Mac のオペレーティングシステムは、macOS 10.15 Catalina*、macOS 10.14 Mojave、macOS 10.13 High Sierra、macOS 10.12 Sierra です。
- 4 GB の RAM (8 GB を推奨)。
- Parallels Desktop インストール用として、ブートボリューム (Macintosh HD) に 500 MB のハードディスク空き容量。
- 仮想マシンに割り当てるディスク領域 (パフォーマンス向上のために SSD ドライブを推奨)。たとえば、Windows 10 の場合、少なくとも 16 GB のディスク容量が必要です。
- インターネット接続 (製品のアクティベーション、一部機能の利用など)。

*macOS 10.15 Catalina が正式にリリースされた時点で、Parallels Desktop をアップデートしなければならない場合があります。

著作権表示

Copyright© 1999-2019 Parallels International GmbH。 All rights reserved.

この製品は、米国著作権法および国際著作権条約およびその他の知的所有権条約によって保護されています。製品の基本となる技術、特許、および商標は、<https://www.parallels.com/about/legal/> に一覧表示されています。

Microsoft、Windows、Windows Server、および Windows Vista は、Microsoft Corporation の登録商標です

Apple、Mac、Mac ロゴ、OS X、macOS、iPad、iPhone、iPod touch は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

ここに記載したその他のマークおよび名前は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

お問い合わせ

製品の Web サイト: [parallels.com](https://www.parallels.com)